

16巻 表紙・はしがき・目次

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00061877

論文集
第16卷

2020年度

金沢大学人間社会学域経済学類

社会言語学演習

はしがき

本論集は、金沢大学人間社会学域経済学類社会言語学ゼミ（代表 西嶋 義憲）が編集・発行するゼミ紀要『論文集』の第16巻です。本巻には6編の論文が収められています。執筆者は、学士課程の経済学類3年生と4年生、そして、人間社会環境研究科の研究生です。

巻頭論文「罵り言葉『ばか』の二重機能」は、形式的には罵り言葉ですが、愛情表現としても使える「ばか」の用法の違いをイントネーションなどのパラ言語情報に基づいて分析しています。

2編目の「落語における登場人物の語尾の変遷——速記本の分析——」は、落語に登場する人物の発話の語尾に男女差があるのかどうか、あるとすればその差は歴史的に変化してきているのかを調査しています。

3編目の「海外セレブリティの発言の日本語訳における女性的表現——女性ファッション誌 *VOGUE JAPAN* の記事から——」は、女性ファッション誌の翻訳記事を材料に、女性セレブリティの発言がどの程度女性らしく日本語に訳されているのかを分析しています。

4編目の「禁止サインの表現形式に関する調査——金沢市を事例に——」は、石川県金沢市を事例に、3つの性格の異なるエリアを選定し、それぞれの地域の特性と禁止サインの表現形式との関連を明らかにしようと試みています。

5編目の「漫画『ドラえもん』の『ひみつ道具』にみるネーミングの法則——お菓子にみるネーミングの法則と比較して——」は、漫画『ドラえもん』に登場するひみつ道具（「どこでもドア」や「タケコプター」など）の名称には、子どもに分かりやすくするよう、どのような工夫が凝らされているのかを分析しています。

巻末の6編目の「青春18きっぷのキャッチコピーと社会情勢」は、3年生の共同研究で、青春18きっぷという商品のキャッチコピーを材料に、経済情勢の変動によってその商品のターゲット層が変化するという仮説を検証しようと試みています。

*

今年度の学士課程の卒業生は4名、大学院博士前期課程と後期課程の修了生がそれぞれ1名ずつです。それぞれの分野での卒ゼミ生たちの一層の活躍を祈っています。

学士課程の新3年生として新たに3名の学生が当ゼミに加わります。そして、博士前期課程に1名の院生を迎えます。この4名の新ゼミ生が私の最後の指導学生となります。退職まで残すところあと2年となったからです。順調にいけば、この4名の卒業・修了と同時に、私も退職することになります。もちろん、そのほかにも、学生8名と院生3名が在籍しています。この2年間で全員が無事に卒業・修了できるよう発破をかけていきたいと思えます。

2021年3月 西嶋 義憲

目 次

<論 文>

賈 羽飛

罵り言葉「ばか」の二重機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

澤 緋奈子

落語における登場人物の語尾の変遷——速記本の分析——・・・・・・13

前川 愛歩

海外セレブリティの発言の日本語訳における女性的表現
——女性ファッション誌 *VOGUE JAPAN* の記事から——・・・・・・33

増澤 直彦

禁止サインの表現形式に関する調査——金沢市を事例に——・・・・・・53

田中 良樹

漫画『ドラえもん』の「ひみつ道具」にみるネーミングの法則
——お菓子にみるネーミングの法則と比較して——・・・・・・71

金井 良磨・西村 克輝

青春 18 きっぷのキャッチコピーと社会情勢・・・・・・・・・・・・87

*

過去および現ゼミ生の論文タイトル・・・・・・・・・・・・・・・・・・105

金沢大学社会言語学演習紀要『論文集』第 17 巻執筆要領（簡略版）・・・・120